

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和元年 6月27日(木)	午前・午後 午前・午後	1時50分から 2時50分まで
開催場所	本庄市立図書館		
出席者	<p>構成員：吉田市長、勝山教育長、富沢教育長職務代理者、落合委員、岡崎委員、今井委員</p> <p>教育委員会事務局：高橋教育委員会事務局長、笠原教育総務課長、落合図書館長、野口教育総務課長補佐</p> <p>事務局：山下部企画財政部長、前川企画課長 新井企画課長補佐、石橋主事</p>		
議題 (次第)	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 議 題 本庄市立図書館の現状と今後について（意見交換）</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1：本庄市立図書館の概要 ・ 資料2：雑誌スポンサーの募集案内 ・ 資料3：本庄市ブックスタートガイド ・ 参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱 		
その他特記事項	なし		
主管課	企画課		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の前川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより、令和元年度第1回本庄市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者が1名いらっしゃいます。本庄市総合教育会議運営要綱第9条に従って、傍聴希望の手続きを行い入室していただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。開会にあたりまして、吉田市長よりご挨拶をお願いします。</p>
市長	<p>皆さまこんにちは。総合教育会議が始まってから、だいぶ回を重ねてきました。学校で今まで行っておりましたが、本日はところを変え、図書館にお越しいただきました。図書館の現状や課題等について、皆さまからご意見を頂戴することを、今回の会議の主な趣旨とさせていただきます。</p> <p>平成という時代を振り返ると、30年間で教育を巡る様々な状況が変わってきました。学校教育の現場においては、先生方が非常に努力されており、平成のはじめは殺伐としていた卒業式や成人式も、30年間で落ち着いたものとなりました。</p> <p>少子化が進む中、孤立したり生きづらさを感じる子ども達がいると、表には出ない問題が起きているのが現状です。大多数の子どもがのびのびと活発に体を動かし、勉強をし、友達をつくれる教育環境にいる中、目に見えない部分で子ども達を取り巻く課題が多くあります。令和という時代では、ひとりひとりの人権を尊重すると同時に、孤立させない社会づくりが必要だと感じています。</p> <p>総合教育会議においては、様々なご意見ご議論等いただき、教育行政の進展に繋げていきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして勝山教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
勝山教育長	<p>皆さまこんにちは。本日は第1回総合教育会議を、本庄市立図書館において開会させていただきました。図書館は知の拠点、文化の拠点ということで、幅広い世代の方が使用する施設です。下は乳幼児期から上はシニア世代まで、様々なニーズがありご利用いただいています。最近では、インターネットという仮想空間が、子ども達に大きな影響を及ぼしています。子ども達の心を養う上では、読書が非常に大切な役割を果たすと思います。</p> <p>これから図書館長から、図書館の現状等の説明がございしますが、いただいたご意見を今後活かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>ありがとうございました。それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料といたしまして</p> <p>① 本日の次第 ② 資料1：本庄市立図書館の概要 ③ 資料2：雑誌スポンサー募集案内 ④ 資料3：本庄市ブックスタートガイド ⑤ 参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱</p> <p>以上5点でございます。不足等はございませんでしょうか。 それでは、早速議題に入らせていただきます。「本庄市総合教育会議運営要綱」第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思っております。吉田市長よろしくお願ひいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と勝山教育長が署名するということよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆さまの確認の後に、署名を行うこととします。 早速、議事に入らせていただきます。「本庄市立図書館の現状と今後について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>【議題】 本庄市立図書館の現状と今後について</p>	
<p>事務局 (図書館長)</p>	<p>(資料1に基づき説明)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。ただいま、「本庄市立図書館の現状と今後について」ご説明いただきました。これから先は、皆さまの自由な意見交換とさせていただきます。</p> <p>まず、私から聞きたいのですが、来館者の人数をカウントしているのですね。</p>
<p>事務局 (図書館長)</p>	<p>はい。実は入口のところに、赤外線センサーがあります。カウントした数の半分を1日の入退場者としてカウントしています。</p>
<p>市長</p>	<p>リニューアル前的人数はわかりませんか。</p>

事務局 (図書館長)	わかりません。その時は機械が入っていませんでしたので、目視確認となっていました。
市長	実際に来館した人数は、リニューアル前後で随分変わったのではないかと思います。数字で表されてはいないのですか。
事務局 (図書館長)	正確に比較するデータは、現在ございません。
市長	児玉分館での、来館者の実人数はわからないのですか。あくまで貸出人数のみですか。
事務局 (図書館長)	入口に設けているセンサーでカウントをしています。実際の来館者数は4万人を超えており、貸出人数よりは多いですが、減少傾向となっています。29年度が4万6,355人で、30年度が4万2,007人となっており、マイナス4,300人減少となっています。
市長	全体の経過は、5年ほどしないとわからないと思いますが、前年比ではマイナスなのですね。 児玉で、貸出人数も含めて減少している要因は何でしょうか。
事務局 (図書館長)	窓口に出ている職員にもヒアリングをしていますが、正確な原因が未だに掴めていません。290日開館している中で、1日3人来館者が減ると、1年で1,000人減となります。ただ、体感として1日3人減っていることは気づきにくいものです。 資料1の5ページにあります、年齢別の貸出人数の推移を見ると、高齢になればなるほど利用が増えている傾向にあります。一方、未就学児から小学生については減少傾向となっています。その辺りも、減少要因のひとつとなっていると思われます。親御さんとお子さんが2人で来るといった姿が、以前よりも減っているような印象があります。
市長	読み聞かせ等のイベントの開催回数はどうなのでしょう。
事務局 (図書館長)	読み聞かせには、お話し会と、本とわらべ歌のお話し会の2種類があります。児玉分館でのお話し会は、月2回です。本館のお話し会は、原則第2第4土曜日がお話し会で、第1木曜日が本とわらべ歌のお話し会と、月3回行っています。お話し会では、ボランティアに活躍をしていただいています。 その他にも、出張お話し会ということで、児童担当が小学校に出向き、お話し会を行ったりもしています。
市長	まず私の方で、口火を切らせていただきました。皆さまから何かありますか。 もし良ければ、私の方からもう少し深く聞いてもいいですか。お話し会に来る、親御さんとお子さんは、ある程度常連の方ですか。新規の方が来ることはありますか。
事務局 (図書館長)	直近のお話し会では、半数が常連さんで半数が新しい方でした。児玉分館では、外国籍の方の参加もありました。

市長	子どもの数が少なくなっていることと、来館者やお話し会に来る人の数が減っていることは、相関関係にあるのでしょうか。それとも別の理由があるのでしょうか。
事務局 (図書館長)	基本的には、お話し会に興味を示してくれている親御さんは、積極的に来館しています。一方で、新たに図書館を訪れてくれる方はなかなか増えません。ただ、ブックスタート事業で差し上げているトートバックを肩に提げ、図書館に来る親子の姿が前よりも増えているように感じます。そういった意味では、少しずつブックスタートの効果が出ているように感じます。
市長	共働きの親御さんが増えているので、親子で図書館に来る時間が無かったりするケースもあります。読み聞かせをすることによって、子ども達に本に親しんでもらう機会としているのですね。
事務局 (図書館長)	小学校等ではボランティアの方や、PTAの方にも活躍していただいています。土日や夕方に親子で図書館へ寄る姿は見受けられますが、先ほど図書館内を見学してもらったように、日中の明るい時間には、親子の姿は見えないのが実情です。
市長	いかがでしょうか。
岡崎委員	資料1の2ページにある催し物の参加数から見ても、本館では26年は5,657人の参加者がいましたが、それから現在では3,000人ほどに落ち込んでしまっています。5年の間に社会的な要因があったのは間違いないのだろーと思いますが、それだけで2,000人も減少するのには疑問があります。別の要因が、何かあるのではないのでしょうか。 それから、5ページの7歳～12歳の貸出人数1万2,088人の中には、6ページの移動図書館の貸出人数5,807人が含まれているのでしょうか。
事務局 (図書館長)	数字には含まれていません。
岡崎委員	貸出人数は、1万2,088人に5,807人を足した数となるのですね。 ちなみに、移動図書館が中学校に行った場合、ニーズがあるのでしょうか。
事務局 (図書館長)	その点については、私も館長に就任して日が浅いため、深く検証していませんでした。申し訳ございません。中学生のニーズについてですが、部活動や学習環境からすると移動図書館に出向くゆとりが、あまり無いかと思われます。 現在、移動図書館は1台で120回運行しています。中型車両を運転することになりますので、運転手の手配が必要となり、1,500冊の本の入れ替えも行うため、手間を考えると回数を増やすのはなかなか厳しいです。
市長	他にいかがでしょうか。

落合委員	<p>色々な説明をありがとうございました。私は児玉に住んでいますが、児玉から本屋さんが無くなってしまいとても残念でした。そのことを、大学の教え子に伝えたところ「残念ですね、知的・文化の財産が市民から離れましたね」と言われました。</p> <p>図書流通が変化する中、本庄児玉の知の文化あるいは歴史的なものを、これからどうストックし、薦めていくのでしょうか。図書館行政のプランを、市民の方にアナウンスしているのでしょうか。</p> <p>うちの父は亡くなって十数年になりますが、中国の満州に行っていた時の兵隊の記録があり、とても大切にしていました。家を建て替える際、置き場がなくどうしようと思った時、東松山にある戦争博物館に送ることにしました。そうすると、物は安全に保管されるので、安心しました。それから、昭和20年から昭和45年頃までの児玉高校サッカー部の試合のスコアカードがうちにあります。大切にしないといけないと思っていましたが、家の建て替えの際にどこかにいってしまいました。</p> <p>まちなかにある古い情報をどう集めていくのか、マニュアルやプログラムを作り、市民の方に提示し回収していくことが大切だと思います。各個人で古文書を保管することは大変なことです。考えていただければ幸いです。</p>
市長	<p>この間、戸谷半兵衛の日記がコピーされ、資料館か図書館にあるという噂を聞きました。教育委員会事務局に投げかけたいのは、古文書の保管は、文化財保護課が行っているようですが、こういった範疇で保管をしているのでしょうか。今までどのように保管してきているのか、分かる範囲で教えてほしいのですが。</p>
事務局 (図書館長)	<p>先日も、一般の方からそういった問合せがありました。過去の資料の収集状況を見ると、本庄市史に図書館所蔵と書いてあるものについては図書館がお預かりしていますが、古文書については文化財保護課の範疇となります。ただ、蔵書の寄贈を受けたのが図書館の場合は、図書館で保管していたこともありましたが。そういう意味では、すみ分けがグレーな部分が残っています。</p> <p>それから、落合委員のお話しですが、歴史的価値のある記録資料の寄贈についてご連絡いただいた場合、こちらからお預かりに伺ったりもしています。ただし、古文書の場合は、文化財保護課と協力が必要になります。石川三四郎の資料も、実はご家族から寄贈され、今のように展示しています。資料のお預かりについては、検討をしていかななくてはいけないと改めて感じました。</p>
市長	<p>久喜市では公文書館というものを持っています。詳細まではわかりませんが、そこでは古文書も中世近代現代の資料も扱っているので、行政側の資料の収集の姿勢が示されているのではないかと思います。県内の状況や他市の状況は、どうなのでしょう。</p>
事務局	<p>他市の状況は掴んでいません。ただ、保管する際には、価値が</p>

(図書館長)	高いものを市で扱うべきなのか、県レベルで扱うべきなのかという議論は出てきます。
市長	最終的な保管がどこになるかはともかく、窓口は市町村となりますよね。 私が落合委員の話を聞きながら思ったのが、本庄児玉は戦災や大災害に遭っていないので、古文書等の蓄積があると思います。旧家が無くなると、書物も無くなる可能性があります。保管していくことについては、きちんと考えてもいいのかと思います。
落合委員	私は実相寺の住職をやっています。うちの檀家さんの家から、多くの祐天上人の書が出てきました。どうしてかと思い、祐天寺研究所の教え子に聞いたところ、祐天上人がこちらの方面にも来ていたことがわかりました。調べたところ、家にもあり、寺にもあり、檀家さんの家にもありました。渋沢栄一先生の書き物が家にもありますが、そういった古い物が、どれだけどこにあるのかを調べておくべきだと思います。郷土の文化を市民に認識してもらうことで、本庄市民としての心の支えになると思います。何らかの方法で、これから貴重になるであろう文献のリストアップを今のうちにしておかないと、物がどんどん無くなってしまいます。知の文化、地域の文化といったものが損失し、本庄児玉の特色と言うものが消え失せて継承できなくなるかもしれません。
市長	貴重なご提言ありがとうございます 他にご意見はございますか。
富沢委員	貸出人数の年代別データを見ると、一目瞭然でローティーンからハイティーンまでが少なく、高齢者が多くなっています。 先ほど市長が質問していましたが、来館者数はやはり肝になると思います。図書館に来て、本を見て興味を持つことは大事なことです。13～22歳までの来館者は何らかの必要性があり、借りるものも決まっている状況でやって来ます。本へ接することを養成するには、やはり6～12歳頃の子どもと親御さんを狙わないといけません。親子で来たら飲み物を1本ずつプレゼントしたり、おもしろそうな催しを行ったりと、まずは図書館という空間に接してもらう工夫が必要だと思います。 来館者数の増加が、貸出人数の増加に繋がるかについて、まず検証してみるのもいいかもしれません。人がたくさん来る場所を目指す方策もいいと思います。
市長	先ほどご覧いただいたように、幼児コーナー等は知ってもらえればまた来ようかなと思ってもらえる空間になっています。先日、北泉小学校のPTAの方々と話す機会があり、その中で施設が遠いというお話がありました。意外と行ったことがない状態でお話している方が多く、車で足を運んで来てもらう工夫というのは大事なことだと思います。 親御さんたちも、SNSで繋がっている世代です。市で行うイ

	<p>ベントのPRを、SNSで分かりやすくまとめて発信する体制づくりが必要だと思います。縦割りの仕事で無く、横串を刺して広報を行うことが大切です。今後、市の行事に参加してくれる若い世代がさらに増えれば良いと思います。</p> <p>今回図書館の状況を見て、やはり情報発信が重要だと感じました。興味を引く話題や子育てに関すること、悩んでいるお母さん向けと、保育の分野で行うような内容を、あえて図書館でも取り扱うことは面白いのではないかと感じました。</p>
落合委員	<p>付帯意見なのですが、これからの超高齢社会をどうすべきか考えないといけません。高齢者の生活範囲を考えたとき、それは自宅になります。在宅者がどう利用できるかを提示していくことができないでしょうか。</p> <p>外に出られなくなった場合にどのように図書館の情報を得て、どのように読みたい本を入手し、どのように返却するのかといった方法を構築してあげれば、図書館サービス、ひいては市全体の情報サービスとして確立できるのではないかと思います。</p>
市長	<p>例えば、福祉の分野とタイアップし、外に出られない方のために本を届け返却してあげるという、ボランティア事業を行うこともいいですね。</p>
富沢委員	<p>2040年まで、高齢者は増え続けていきます。</p> <p>ヨーロッパでは安楽死が行われています。本が好きな人は、最期の瞬間、家族や近親者に自分の好きな本を読んでもらいながら亡くなるそうです。</p>
落合委員	<p>私の関わっている業界では、終末期になるとその人の好きなCDを流すそうです。</p>
市長	<p>本好きにとっては、本を読みながら亡くなりたいでしょうね。</p> <p>本屋で手に入らず、ネット通販だと高価な古典や専門書等の本は、図書館にしか無い場合もあります。自分が高齢になり外に出られなくなった時、図書館へのアクセス方法は確かに考えさせられるところです。高齢者が増加している中での図書館の在り方を考えると、これからのサービスは福祉部門とタイアップしながら展開していくことも考えられますね。</p>
落合委員	<p>その先駆けを、本庄市がどう行っていくかですよね。</p>
市長	<p>考えてみても良いテーマです。図書館と福祉部門で連携し、高齢者だけでなく、在宅の方々に、本の貸出代行サービスを行うことは面白いかもしれません。浸透していけば利用されていくと思います。</p> <p>本庄市は今、はにぼん号を一生懸命PRしています。元気な方には、はにぼん号に乗って図書館にアクセスしてもらうことも良いと思います。保健部門では、はにぼんチャレンジというものを行っています。これは、体を動かす行事に参加するとポイントが溜まり、最後には景品がもらえるというシステムです。生涯学習</p>

	の講演会に参加してもポイントがつきます。その中で、はにぼん号で図書館に行くとポイントがつくようにするのも良いかもしれませんが。色々な部署を、うまく繋ぎ、体制をつくれないうかがえたいです。
落合委員	児玉の子ども達は、はにぼん号の利用方法やどこに行けるか等知らないと思います。
市長	そうなんです。
落合委員	例えば、夏休みは子どもを乗車フリーにするのもいいですよ。家にも暑いですし、テレビばかり見ていると怒られてしまいます。そういった時、はにぼん号が動いているから、図書館に行っておいでとお母さんが言えるわけです。はにぼん号については、まだ情報が上手に提示されていないのかもしれませんが。どれだけユーザーファーストにするかを考えると、色々な手法が見えてくるとと思います。
市長	やはり、来てもらう工夫は大事ですね。
今井委員	コミュニティとしての場を提供するという意味では、畳の場所があると小さい子どもも来られるので良いと思います。お話し会を行うことも良いですが、場所を提供し、お母さん達に集まってもらうのも良いと思います。 ブックスタートが10ヶ月ということで、子どもに集中力が無い時期に渡しています。2～4歳といった、面白さが分かる時期になってから本との関わりを持たせるのが良いと思います。
市長	ブックスタート第2弾ということですね。
今井委員	そうです。畳のところで読み聞かせしながら遊ばせ、お母さん達はおしゃべりをする、という環境にもっとしてあげれば、図書館に来る世代も若くなっていくと思います。
市長	3階はおしゃべりや飲食が可能で、従来の図書館の静かな雰囲気にならないようにしています。3階はもっと利用してほしいですね。 皆さまからご意見等ありましたが、事務局はどうでしょうか。
事務局 (図書館長)	今井委員が言うように、ブックスタートの第2弾はアプローチとして必要だと思います。図書館は今まで、内向きの活動は活発にやってきましたが、外向きの発信は少なかった気がします。ブックスタート後、次の世代に向けたさらなる仕掛けが必要だと感じてはいますが、現実に事業が至っていないような状況です。今後、ボランティアの力も借りながら行っていきたいです。 それから、公共交通との兼ね合い等としては、定期交通であれば図書を載せ、各停留所で配るといった方法・考えもあると思います。児玉地区の場合、高齢で図書館に来る機会が減ったという方向けに、宅配のようなサービスを行えないかという意見が職員内でも出ています。ただ、それを実際に運用するとなると、整理すべき課題がたくさん出てきてしまい、すぐには取組めない状況

	<p>です。問題意識は職員も持っており、そこは進めていかななくてはと感じております。</p> <p>知的財産を確保していくというお話しについてですが、資料室は有限であり、全てを受け入れるというわけにはいきません。ただ、希少価値の高いものや郷土に残さなくてはならないものについては、できるだけ図書館に置かせていただき、さらに広域的な資料については、博物館や資料館と連携しながら保管をしていくべきと思われます。</p> <p>図書館としては、育成や下支えを行うことで、ボランティアを増やしていくことも重要だと考えています。今後の取組については、第2次本庄市子ども読書活動推進計画を成功に導くため、積極的に考えなくてははいけません。</p>
落合委員	<p>ボランティアについて確認したいのですが、やりたいと申し出ればすぐに受け入れてもらえるのでしょうか。または、ある程度研修やプログラムを受けてもらう必要があるのでしょうか。</p>
事務局 (図書館長)	<p>現在のところ、PTAとして各学校でボランティアをしていた方々に登録してもらい、読み聞かせのお手伝い等をしていただいています。読み聞かせをするボランティアのために養成講座もやらなくてはいけないところですが、その辺りの研究がさらに必要となります。私個人としては、ボランティアを育成し、増やしていくためのアプローチが足りていないと感じているところです。</p>
落合委員	<p>最近、ある高校に行きました。そこは小中高がある学校で、高校生が小学生に読み聞かせを行っていました。校長先生は、こうすることで学校の文化や歴史が継承されていくと言っていました。図書館を通し縦のコミュニティ化を図ったことで、学内でのいじめは無くなったそうです。こういった取組を、本庄市の各学校においても、学年を越えてできる内容として推奨してもいいと思います。こうした取組が、これからの図書館行政のあり方に繋がるかもしれません。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。図書館行政を進めていく上での、色々なご意見を頂戴することができました。</p> <p>私の反省点としては、施設をリニューアルしたことで、来館者が増えるだろうと思っていました。しかし、それだけではダメで、予算や人を使いながら、内容を皆で考えていく必要があると感じました。リニューアルしてから、職員には頑張ってもらっていますが、知の拠点として、さらにテコ入れを行う必要があります。本庄市は、歴史と教育のまちと謳っておりますので、図書館に力を入れていくことは大事なことです。本日皆さまにご意見されたことは、しっかりと取組んで参ります。</p> <p>議事については、以上とさせていただきますが、何か気になること等ある方いらっしゃいますか。今後の総合教育会議の課題等</p>

	<p>でも構いません。</p> <p>(なし)</p> <p>では、私からお知らせをしてもよろしいでしょうか。とある筋では話題となっている、2本の映画についてです。1本目が、「あの日のオルガン」です。戦時中、今の蓮田市にあるお寺に、保育園ごと疎開した先生方と子ども達のお話です。県内で、良い映画のため学校・機関で放映してくれないかという運動が起きています。当時、学童疎開はありましたが、保育園疎開はほとんど無く、先生方も非常に苦勞されたそうです。その苦勞を綴った、感動的な映画だそうです。映画館で上映される映画ではないため、何らかの形で、たくさんの人に観てもらえれば良いと考えています。</p> <p>もう1本は、「二宮金次郎」の映画です。監督が、学校や公民館で観てもらいたいと心血注いで作ったそうです。二宮金次郎が苦勞して村を興した物語で、観た方からは素晴らしい内容だと言われています。教育方面において、ぜひこれらの映画を活用してほしいです。</p> <p>これについては、教育長等を通じお知らせし、教育委員の皆さまにもチラシ等をお見せしたいと思えます。世の中の状況について、情報提供をさせていただきました。</p> <p>それでは、これにて、進行を事務局へお返しします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>皆さまには、慎重審議大変ありがとうございました。</p> <p>最後にその他といたしまして、今年度のスケジュールについて事務局よりご説明いたします。</p>
事務局 (企画課長補佐)	<p>ご説明いたします。今年度の総合教育会議の開催につきましては、昨年度と同様、年3回程度を予定しております。今後につきましては、第2回会議を予算編成前の10月頃、第3回会議を来年1月頃に開催してはと考えております。</p> <p>その他につきましては、以上でございます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。</p>

市 長

吉田 浩一

教 育 長

勝山 勉